

議 長



## 政務活動費交付請求書

令和 6 年 9 月 9 日

四日市市長

会 派 名 公明党

代表者氏名 荒木 美幸

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づ

き、令和 6 年 8 月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額 244,862 円

2. 政務活動費の対象となる経費

| 区 分       | 金 額     | 備 考 |
|-----------|---------|-----|
| 調 査 研 究 費 | 154,240 |     |
| 研 修 費     | 66,602  |     |
| 資 料 作 成 費 |         |     |
| 資 料 購 入 費 | 2,530   |     |
| 要請・陳情活動費  |         |     |
| 会 議 費     |         |     |
| 広 報 費     |         |     |
| 広 聴 費     |         |     |
| 人 件 費     |         |     |
| 事 務 費     | 21,490  |     |
| 合 計       | 244,862 |     |

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



経 理 責 任 者

荒木

# 内 訳 明 細

6 年 8 月分 No. 1

| 区 分       | 金 額            | 内 容                                                       |
|-----------|----------------|-----------------------------------------------------------|
| 調 査 研 究 費 | 29,660         | 8/22 渋谷区教育委員会視察                                           |
| 研 修 費     | 3,550<br>2,152 | NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク年会費・振込手数料<br>日本自治創造学会年会費・振込手数料 |
| 資 料 作 成 費 |                |                                                           |
| 資 料 購 入 費 | 2,530          | 書籍「100 年学習時代」                                             |
| 要請・陳情活動費  |                |                                                           |
| 会 議 費     |                |                                                           |
| 広 報 費     |                |                                                           |
| 広 聴 費     |                |                                                           |
| 人 件 費     |                |                                                           |
| 事 務 費     |                |                                                           |
| 合 計       | 37,892         |                                                           |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること

第6号様式(第4条関係)

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

|       |                 |               |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
|-------|-----------------|---------------|----|------------------------|----------|------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 会 派 名 |                 | 公明党           |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 参加者氏名 |                 | 中川 雅晶         |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 用務先   |                 | 東京            |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 実施日   |                 | 令和6年8月22日 (木) |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 目 的   |                 | 視察            |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 月日    | 発 着             | 路 程           | 路線 | 運 賃                    | 特別料金     | 特・急料                   | 日当                     | 宿泊料                                                                      |
| 8/22  | 近鉄<br>四日市 ~ 名古屋 | 36.9 KM       | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  | 1 日<br><br>(4,500 円/日) | 甲地方<br><br>泊<br><br>(15,900 円/泊)<br><br>乙地方<br><br>泊<br><br>(14,900 円/泊) |
|       | 名古屋 ~ 東京        | 366.0 KM      | JR | 6,380 円                | 円        | 4,920 円                |                        |                                                                          |
|       | 東京 ~ 名古屋        | 366.0 KM      | JR | 6,380 円                | 円        | 4,920 円                |                        |                                                                          |
|       | 名古屋 ~ 近鉄<br>四日市 | 36.9 KM       | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM            |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
| 小 計   |                 |               |    | 14,280 × 1<br>14,280 円 | ×<br>0 円 | 10,880 × 1<br>10,880 円 | 4,500 × 1<br>4,500 円   | 0 × 1<br>0 円                                                             |
| 合 計   |                 |               |    | 29,660                 |          |                        |                        |                                                                          |

※精算

|             |     |      |      |     |       |
|-------------|-----|------|------|-----|-------|
|             | 運 賃 | 特別料金 | 特・急料 | 日 当 | 宿 泊 料 |
| 精 算 額       | 円   | 円    | 円    | 円   | 円     |
| 差 引 額       |     |      |      |     |       |
| 過 不 足 の 理 由 |     |      |      |     |       |

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6年 8月 30日

|       |                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 実施日時  | 令和 6年 8月 22日（木）13時30分～15時30分                             |
| 参加者氏名 | 森 智子 中川雅晶                                                |
| 用務先   | 東京都渋谷区                                                   |
| 対応者   | 渋谷区教育委員会事務局 次長 篠原 保男氏<br>教育指導課 統括指導主事 松村 信之介氏<br>〃 田村 崇氏 |

|           |      |
|-----------|------|
| 成 果 ・ 所 感 | 別紙添付 |
|-----------|------|

資料別添付

## 成果・所感

公明党 中川雅晶

学校が特権階級だけでなく一般庶民にも広く門戸を開くようになったのは明治時代からの百年程度の歴史にすぎません。それ以前は、学校のない社会で能力開発していました。しかしながら、現在において「教わる」という形の学び方に慣れすぎ、自ら学ぶ力を弱めてしまう傾向性があります。

education の語源は educatio というラテン語が語源です。e「外側へ」duce「導く」ate「～する」-ion「～すること」、つまり引き出すという意味だと言えます。教育は子どもたちに与えるものだけでなく、「潜在する能力を引き出すこと」と言えます。「教わる」という受動的行為から「学ぶ」という能動的行為へシフトしていくことは、令和の教育において重要であると思います。

渋谷区は 2024 年度から公立小中学校で原則、午後の時間を探求学習「シブヤ未来科」としました。

区長と教育長、教育委員が総合教育会議において教育大綱で未来の学校の将来像をハード面とソフト面の両面で定めた。学校の老朽化で 25 校中 22 校を 20 年で立替えに際し、新たな学びの場（つながる・広がる・深まる学びの場）、

環境への配慮、地域コミュニティの拠点（地域をつないで交流を生みシビックプライドを育む。また、災害時に避難所として利用できる地域コミュニティの核となる場所）の探求×協働のワクワクが止まらない学びの空間「ラーニング・コモンズ（共有資源）」と称しています。

ソフト面が探求学習「シブヤ未来科」です。文科省「授業時数特例校制度」

（令和４年度～）を利用して、教科学習を１割減らし、総合的学習を年間 70 時間を約 150 時間へ倍増させて探求プログラムに取り組むものです。しかも、モデル事業施行後ではなく、一斉に行ったことは特筆すべきところです。（一斉に行ったことで、学校現場では連帯感が生まれたとの弁）

前期（４～９月）は探求基礎（企業等による探求）50 時間程度、共通テーマ探求 70 時間程度、後期（10～3 月）マイ探求 35 時間程度とつなげます。

課題（リスク）として、探求学習が調べ活動に留まらないか？がある。そこで、探求基礎を設定し、アイデアを出し、進行管理しながら情報収集、整理、発表等へもっていく。

シブヤ未来科の目標は、自己調整力（自ら考え判断して学び続ける）、創造力（多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す）－ 価値創造、挑戦力（自分が思い描く未来を実現しようとする）の 3 つの資質・能力としています。

問題解決型、個別最適な学び、協働的な学びを具現化した教育改革の本気度を

感じます。

教科別授業は、教える側の都合が良いが、学ぶ側は何のために学ぶかを理解できず、ただ勉強しなければならないという不安感にさいなまれる。しかし、探求学習は基礎学力が必要であることを実感し、複数の教科が関わりあうことも体感し、学ぶ楽しさ、すばらしさを感じる。そして、さらなる知の欲求が湧いてくる。不登校気味の生徒も、探求の時間を目指して登校するようになったとの事。

課題は、教員の教材準備の負担が増える。探求は、生徒だけに任せては深まりませんが、教え込まずに子どもの力を引き出すサポートは難しく、教員の指導力にも差が生じる。子どもの得意不得意や学力差、学びに向かう自己調整力にも個人差がある中で、教員が１人で個々の生徒にあわせた支援を行うのは簡単ではないとの事でした。

そこで、小学校は毎週、中学校は月１回ティチャーズラーニングデイを設けて研鑽している。探求ハンドブックを作成をするなど教員の支援もおこなっています。

しかし、Teacher（教える）から Facilitator（コーディネーター）へのスキル転換が大きな課題との事でした。

本市においても、個別最適な学びと協働的な学び、課題解決能力を養うために

探求学習の推進は欠かせないと考えます。

# ご利用明細

三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

|                                                                                                      |         |            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------|
| 年月日                                                                                                  | 取扱店番    | お取引内容      |
| 060821                                                                                               | 0534139 | お振り込み      |
| 受付通番                                                                                                 | 銀行番号    | 支店番号       |
| 0015                                                                                                 |         |            |
|                                                                                                      |         | 口座番号       |
|                                                                                                      |         |            |
|                                                                                                      |         | お取引金額      |
| *****                                                                                                |         | ¥3,000     |
| *****                                                                                                |         |            |
| お取引<br>できない場合                                                                                        | 残高      |            |
| 09.08                                                                                                | ¥550    | おつり ¥6,450 |
| 三菱UFJ銀行<br>野並支店<br>普通 0025988<br>イヌヒ・オーチイキキヨウセイヲササイルイリヨウ<br>カイゴ シミンセンコク様<br>ナカカワ マサアキ様<br>[Redacted] |         |            |

お振込先 お受取人 ご依頼人

中川 雅晶 様

NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

会長 小倉 和也

会長 亀井 克典

2024 年度年会費納入について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワークの活動にご理解、ご尽力いただきまして誠に有難うございます。当法人の会計年度は 8 月 1 日から翌年 7 月 31 日となっております。

8 月から新年度がスタートしており、2024 年度分年会費の納入依頼を送付させていただきました。

当法人は皆様の会費で運営させていただいております。

何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1、年会費 3,000 円（個人会員）

2、銀行振込 ① 銀行名：三菱 UFJ 銀行 野並支店（店舗コード 697）

口座：普通預金 0025988

名義人：NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

② 銀行名：ゆうちょ銀行 記号 10080 番号 86488031

⇒他金融機関から振り込む場合、記号 008 番号 8648803

名義人：NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

3、納入期限：令和 6 年 8 月 30 日（金）

4、注意点 ① 上記年会費のお振込み手数料は各自ご負担ください。

② ATM からの振込みの場合は、

封書及び書面で表示させていただいているご名義で、お名前の後に施設名の  
入力をお願いいたします。

振込元のご名義が 12 文字しか印字されません⇒（例）イリョウハウジンシャタ

上記のような場合、確認が出来ませんので、お名前が分かるよう、入力をお願いいたします。

③ 次年度から口座引落をご希望の場合、「預金口座振替依頼書」をお送りしますので、  
ご連絡ください。

④ セミナーのご案内等、メールでお知らせしています。メールアドレスの登録、変更が  
ありましたら、事務局までご連絡ください。

以上

問合せ先：NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

TEL:047-701-8223

事務局 担当 小池

# ご利用明細票

|                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|---------|-----|--------|-----------------|--|----|------|------|---------|---|------------|------------------------------------------------------------------------------|
| お取扱日                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 店番         | 取扱番号      |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 06-08-28                                                                                                                                                                                                                                                                               | 22002      | A93340005 |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 取扱店                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ヨッカイチデン    |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 払込口座                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 00110-9    | 697314    |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 払込金額                                                                                                                                                                                                                                                                                   | *2,000     | 料金 *152   |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| <table border="1"> <tr> <td>口座振替番号</td> <td>00110-9</td> </tr> <tr> <td>振替額</td> <td>697314</td> </tr> <tr> <td>一般財団法人 日本自治創造学会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>ご依頼人</td> <td>中川 雅弘 様</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>(00000000)</td> </tr> </table> |            | 口座振替番号    | 00110-9 | 振替額 | 697314 | 一般財団法人 日本自治創造学会 |  | 金額 | 2000 | ご依頼人 | 中川 雅弘 様 | 種 | (00000000) | <b>振替受付票</b><br>払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。<br>料金には、消費税等が含まれています。<br>(ゆうちょ銀行) |
| 口座振替番号                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 00110-9    |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 振替額                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 697314     |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 一般財団法人 日本自治創造学会                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 金額                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 2000       |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| ご依頼人                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 中川 雅弘 様    |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 種                                                                                                                                                                                                                                                                                      | (00000000) |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 入金額                                                                                                                                                                                                                                                                                    | *3,000     |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| おつり                                                                                                                                                                                                                                                                                    | *848       |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |
| 口座の譲渡・譲受・売買は法律により禁止されています                                                                                                                                                                                                                                                              |            |           |         |     |        |                 |  |    |      |      |         |   |            |                                                                              |

印紙税申告納  
付につき趣町  
税務署承認済

会 員 各 位

日本自治創造学会 年会費納入のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本自治創造学会の2024年度年会費の納入について、郵便局の払込票を添えて御請求申し上げます。

9月30日（月）までにお振込の手続きをおとり戴ければ誠に幸いと存じます。

尚、銀行口座へのお振込みの場合には下記までお願い申し上げます。

三菱UFJ銀行

浅草橋支店 普通預金 No.0068576

口座名義人

ザイダンホウジンニホンジチソウゾウガッカイ

2024年8月

一般財団法人日本自治創造学会 事務局

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 2-24

鈴惣ビル 301

TEL : 03-5846-9227

FAX : 03-5846-9228

E-mail : info@jsozo.org

注文番号 249-2607954-9259812 の領収書  
このページを印刷してご利用ください。

四日市市議会議員  
中川 雅晶 様

発行日: 2024年8月13日  
注文日: 2024年8月11日  
Amazon.co.jp 注文番号: 249-2607954-9259812  
ご請求額: ¥2,530

2024年8月11日に発送済み

注文商品  
1点 100年学習時代 はじめての「学習学」的生き方入門 (【BOW BOOKS 026】), 本間正人  
販売 アマゾンジャパン合同会社

価格  
¥2,530

コンディション 新品

お届け先住所:  
中川雅晶  
510-0874  
三重県 四日市市河原田町311-5

配送方法:  
お急ぎ便

#### 支払い情報

支払い方法:

一括払い

請求先住所:  
中川雅晶  
510-0874  
三重県 四日市市河原田町311-5  
クレジットカードへの請求

|          |        |
|----------|--------|
| 商品の小計:   | ¥2,530 |
| 配送料・手数料: | ¥0     |
| 注文合計:    | ¥2,530 |
| ご請求額:    | ¥2,530 |

Visa (下4けたが5911): 2024年8月11日 ¥2,530

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

本間正人

工藤勇一氏

(東京都千代田区立麹町中学校元校長)



BOW BOOKS

BOW BOOKS

「教える」側に立った「教育学」から、  
「学ぶ」側に立った「学習学」へ。  
本間さんを全面的に支持します。

# 一〇〇年学習時代

青野慶久氏

(サイボウズ代表取締役社長)

「最終学歴」より、

「最新学習歴」の更新!

そのコンセプトに学びました。

はじめての「学習学」的生き方入門

推薦!

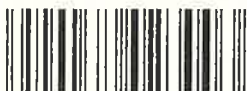


9784502508615

ISBN 978-4-502-50861-5

C0037 ¥2300E

定価 本体2300円+税



1920037023003

発行 (株)BOW&PARTNERS

発売 (株)中央経済グループパブリッシング

## 「人間=学習する存在」(ホモ・ディスケンス)。

これこそが、人間を定義するにふさわしいものだと思います。

経済学的合理性への欲求よりも、学びへの欲求は、  
より根源的で、本質的なのです。

プロローグ ● 今、何が起きているか? 教育と学習の新しい潮流

第1章 ● 「教わる」から「学ぶ」へ

第2章 ● 「学習」を定義する

第3章 ● 「学習学」的学習 「学習学」的生き方

第4章 ● 学校教育一八の呪縛

第5章 ● では私たちはどう学習すればよいか 実践「学習学」的生き方

第6章 ● ライフロング・ラーニング 時間軸で学習をとらえる

第7章 ● ライフワイド・ラーニング 空間軸で学習をとらえる

第8章 ● ライフディープ・ラーニング 自己変容のための学習

エピローグ ● 学習する地球社会を目指して

## 内 訳 明 細

令和6年 8月分 No. 2

| 区 分       | 金 額   | 内 容     |
|-----------|-------|---------|
| 調 査 研 究 費 | 47260 | 8/13・14 |
| 研 修 費     |       |         |
| 資 料 作 成 費 |       |         |
| 資 料 購 入 費 |       |         |
| 要請・陳情活動費  |       |         |
| 会 議 費     |       |         |
| 広 報 費     |       |         |
| 広 聴 費     |       |         |
| 人 件 費     |       |         |
| 事 務 費     |       |         |
| 合 計       | 47260 |         |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

|       |                             |          |    |                        |          |                        |                      |                        |
|-------|-----------------------------|----------|----|------------------------|----------|------------------------|----------------------|------------------------|
| 会 派 名 | 公明党                         |          |    |                        |          |                        |                      |                        |
| 参加者氏名 | 樋口 博己                       |          |    |                        |          |                        |                      |                        |
| 用務先   | 東京                          |          |    |                        |          |                        |                      |                        |
| 実施日   | 令和6年8月13日 (火) 令和6年8月14日 (水) |          |    |                        |          |                        |                      |                        |
| 目 的   | 視察                          |          |    |                        |          |                        |                      |                        |
| 月日    | 発 着                         | 路 程      | 路線 | 運 賃                    | 特別料金     | 特・急料                   | 日 当                  | 宿泊料                    |
| 8/13  | 四日市 ~ 名古屋                   | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  | 2 日<br>(3,000 円/日)   | 甲地方                    |
|       | 名古屋 ~ 東京                    | 366.0 KM | JR | 6,380 円                | 円        | 5,120 円                |                      | 1 泊                    |
|       |                             |          |    |                        |          |                        |                      | (15,900 円/泊)           |
| 8/14  | 東京 ~ 名古屋                    | 366.0 KM | JR | 6,380 円                | 円        | 4,920 円                |                      | 乙地方                    |
|       | 名古屋 ~ 四日市                   | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  |                      | 泊                      |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      | (14,900 円/泊)           |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      |                        |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      |                        |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      |                        |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      |                        |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      |                        |
|       | ~                           | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                      |                        |
| 小 計   |                             |          |    | 14,280 × 1<br>14,280 円 | ×<br>0 円 | 11,080 × 1<br>11,080 円 | 6,000 × 1<br>6,000 円 | 15,900 × 1<br>15,900 円 |
| 合 計   |                             |          |    | 47,260                 |          |                        |                      |                        |

※精算

|             |     |      |      |     |       |
|-------------|-----|------|------|-----|-------|
|             | 運 賃 | 特別料金 | 特・急料 | 日 当 | 宿 泊 料 |
| 精 算 額       | 円   | 円    | 円    | 円   | 円     |
| 差 引 額       |     |      |      |     |       |
| 過 不 足 の 理 由 |     |      |      |     |       |

実施日時：令和6年8月13日(火)13:30~15:00

参加者氏名：樋口博己

視察会場：江戸川区

視察内要：AIを活用した火災や河川の増水を自動検知する防犯システム

視察対応者：危機管理部防災危機管理課 統括課長 藤川則和 他4名



## ◎目的

頻発する自然災害に対して事前の備えは重要であるため、日常的に状況の変化を観察し分析することが求められている。そこで人的な対応だけでなくAIカメラを活用して365日24時間体制で監視し迅速に対応することで、災害が発生しても被害を軽減することができるため、江戸川区の新たな取り組みを調査してきた。

## ◎内容・報告

### 1. 導入に向けての背景

高所カメラの老朽化のため更新作業を行うにあたり、更なる機能拡張のためAIを活用することで、区職員の常時監視による負担を軽減し、災害の早期発見による初動対応の迅速化を目的として導入した。

R4年度末に江戸川区と墨田区の境界あたりで工場火災が発生した折、どちらの区内での火災か分からず議会中であつたが区長が現場に確認に行った事案があつたことも大きな要因となっている。

また、SNS等の情報はAIを活用して、フェイク情報を排除してるが、やはり行政独自の情報をとる必要がある。

### 2. 導入費用とランニングコスト(既存の監視カメラでの活用は可能か)

#### (1)導入費用

- ・防災情報 AI 映像システム改修委託:15,185,500 円(税込)(煙検知を導入)  
→平時から撮影しているため、熱ではなく画像で判断している
- ・河川水位解析用 AI 映像システム改修委託:26,303,640 円(税込)(河川水位解析を導入)→夜間は赤外線カメラで対応

## (2)ランニングコスト

- ・江戸川区防災カメラ設備保守点検委託(その1):9,570,000 円(税込)
- 既存カメラの活用について、カメラ画質に関しては画像解析が行える画質(フル HD 程度)での映像撮影が必要となる。また、撮影する対象箇所の状況にもよるため確認が必要。



防災危機管理課に設置された、AI カメラによる画像を映すモニター

## 3. 運用状況・早期対応好事例などについて

運用状況について AI カメラは常に映像を撮影しており、1 分に 1 度画像解析を行っている。画像解析の結果、煙を検知した場合に区担当職員へ画像付きでアラートメールが送付される。

AI カメラ撮影箇所内での火災被害がないため、実績はなし。

## 4. 区防災アプリを活用した、情報共有の現状

区防災アプリの活用として、お知らせ・緊急情報への掲載や PUSH 通知により情報発信を行っている。また、J アラート訓練時に防災行政無線の放送を行った場合は、放送内容と音声を掲載している。

主な内容として、停電情報・気象情報・訓練情報を掲載している。

## 5. 河川の増水情報をどのように活用し、そしてどのように具体的対策につなげているのか。

河川の水位情報はクラウドサービスの活用により(画像データを随時送っているとデータ量が大きくなるためカメラとセットで現地の PC で AI 解析して水位の

上昇時のみデータを送信する)インターネット上で確認が可能。クラウドサービス内で設定したしきい値以上の水位となった際に区担当職員へアラートメールが送付される。急激な水位の上昇があった場合に区担当職員へアラートメールが届くため、災害の早期発見による初動対応の迅速化となる。

6. AI カメラは、他にどのような(災害)対策に活用できるのか  
罹災証明発行に係る家屋倒壊の判断材料として活用できるのではと検討を進めている。(事前にドローンで撮影が必要)

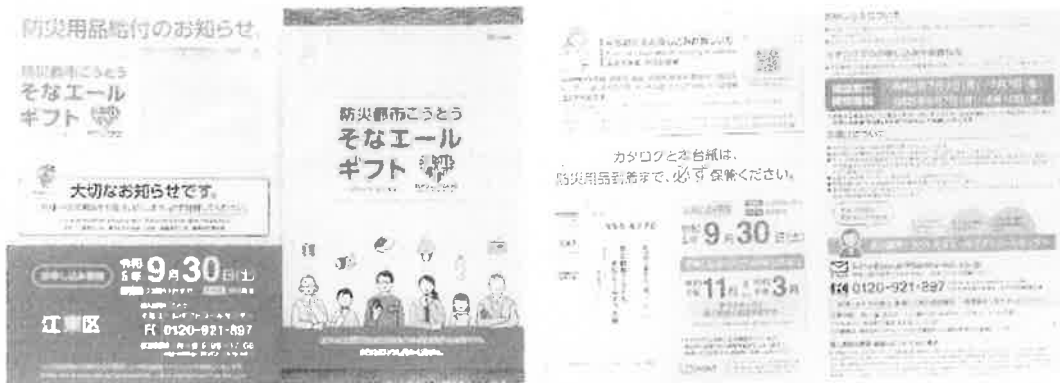
7. 本事業の今後の課題について  
誤検知によるアラートメールが届いているため、AI の学習を進めていき精度向上に努めていく。

#### ◎所感

工場火災の折に区長自ら現場を確認に行かれたように、区長は現場を直接確認することの重要性を感じているようである。その方法として AI カメラを設置して行政が直接その状況を把握し対策を講じていく事を選択している。  
今後は、区内に 200 個の AI カメラを設置し、その通信網は区独自の自立型通信を整備(2 カ年で 46 億円予算)していく方針でもある。

本市においても市内に多くのカメラが設置されているが、これらは画像情報として提供されているだけであるため、人がその画像を見て判断しなければならない。今後は、これらの画像を AI 解析してより少ない人員でより素早く対策ができるようにしていく必要があると感じる。

- ・申込方法 ハガキ:87,986 件 41.83%  
WEB:117,905 件 56.06%  
電話:4,442 件 2.11% 計 210,333 件  
コールセンター 電話:34,202 件 メール:1,314 件  
相談窓口 来場者:30人(3 会場計)



|          |                    |         |          |
|----------|--------------------|---------|----------|
| ・申込ランキング | 1位 防災セット           | 5,000 部 | 28,029 件 |
|          | 2 位 モバイルバッテリー      | 5,000 部 | 19,711 件 |
|          | 3 位 防災リュック 33 点セット | 5,000 部 | 16239 件  |
|          | 4 位 カロリーメイト等       | 1,000 部 | 14,431 件 |
|          | 5 位 トイレ処理凝固剤セット    | 4,000 部 | 13,159 件 |

## ◎所感

- ・東京都が赤ちゃんへの 10 万円カタログギフトを行っており、そこからヒントを得た
- ・カタログ通販業者大手のハーモニックヘプロポータルで発注
- ・ハーモニックも防災に特化したカタログギフトは初めて
- ・カタログに災害の歴史・ハザードマップ等を掲載し、災害時必要とされる商品を時系列に掲載した
- ・市民が自発的に備えるべきであり、税でやる事業ではないのではないかとの意見もあった
- ・事業後のアンケートを行ったが、カタログ発送と共にアンケートをするべきであった
- ・カタログを見ながら、家族で災害への備えの対話を促すことができた
- ・注文品が届かなかった商品に関しては、3 月末まではハガキで、GW 明けまでは電話で対応した
- ・民間ギフトの執行率は約 80%程度であるためその程度を見込んでいたが、73.2%で思ったより伸びなかった
- ・様々なツールで公報したが、「本当に区の事業なのか」「詐欺ではないのか」等の問い合わせが結構あった
- ・中央区や世田谷区も同様の事業を行っており、一般的にも防災用品をギフトとして送る動きが広がっている。四日市市でも同様の事業を通し市民の防災意識啓発を更に促す必要があると考える

実施日時：令和 6 年 8 月 14 日(水)10:00~11:30

参加者氏名：樋口博己

視察会場：江東区

視察内要：防災ギフト配布事業「そなエールギフト」について

視察対応者：総務部危機管理室防災課 課長 岩田勉 他 1 名



### ◎目的

頻発する自然災害に対して事前の備えは重要である。しかし、四日市市に関しては近年全市的な大規模災害が発生していない。行政の取り組みは、一定進んでいるが、全市民的は災害への備えはまだ十分とは言えないと感じる。江東区での全市民への防災意識啓発事業を学び、四日市市民全体の災害危機意識醸成に取り組む手法を学んできた。

### ◎内容・報告

令和 5 年は関東大震災から 100 年という節目の年となることから、防災ギフト配布事業「そなエールギフト」を通して災害への備え(備蓄等)を促進し、区民の防災力の更なる底上げを行い防災意識の高揚を目的としている。

令和 5 年 4 月 1 日時点で区内に住民票がある全世帯に対して、備蓄物資・防災商品に特化したカタログギフト(5,000 円相当)を配布した。

- ・予算額:20 億 8,702 万円(内:約 14 億 3,600 万円が商品代)
- ・カタログ配布数:287,228 件
- ・申込み数 :210,333 件(申込み率 73.2%)
- ・事業期間 配布 :6/21~7/20  
申込み :6/21~9/30  
配送 :11/1~R6/3/31  
コールセンター:6/21~R6/3/31(土日祝・年末年始は休み)
- ・申し込みが難しい方への相談窓口 7/3~7 8/7~10 公共施設3ヶ所
- ・勧奨通知 3 回 1 回目:全世帯  
2 回目:9/13 時点での未申込世帯 164,840 世帯  
3 回目:R6/2/28 時点で再配達依頼していない世帯1906件
- ・広報 区報 4 回・HP・区公式 SNS・地域 FM 等

# 内 訳 明 細

令和5年8月 分 No. 3

| 区 分       | 金 額     | 内 容            |
|-----------|---------|----------------|
| 調 査 研 究 費 |         |                |
| 研 修 費     | 60,900  | 8/9 東京都        |
| 資 料 作 成 費 |         |                |
| 資料購入費     |         |                |
| 要請・陳情活動費  |         |                |
| 会 議 費     |         |                |
| 広 報 費     |         |                |
| 広 聴 費     |         |                |
| 人 件 費     |         |                |
| 事 務 費     | 843     | レポート用紙 付箋 マーカー |
|           |         |                |
| 合計        | ¥61,743 |                |
|           |         |                |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

|       |                 |          |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
|-------|-----------------|----------|----|------------------------|----------|------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 会 派 名 | 公明党             |          |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 参加者氏名 | 荒木 美幸           |          |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 用務先   | 東京              |          |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 実施日   | 令和6年8月9日 (金)    |          |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 目 的   | 研修              |          |    |                        |          |                        |                        |                                                                          |
| 月日    | 発 着             | 路 程      | 路線 | 運 賃                    | 特別料金     | 特・急料                   | 日 当                    | 宿泊料                                                                      |
| 8/9   | 近鉄<br>四日市 ~ 名古屋 | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  | 1 日<br><br>(4,500 円/日) | 甲地方<br><br>泊<br><br>(15,900 円/泊)<br><br>乙地方<br><br>泊<br><br>(14,900 円/泊) |
|       | 名古屋 ~ 東京        | 366.0 KM | JR | 6,380 円                | 円        | 5,320 円                |                        |                                                                          |
|       | 東京 ~ 名古屋        | 366.0 KM | JR | 6,380 円                | 円        | 5,320 円                |                        |                                                                          |
|       | 名古屋 ~ 近鉄<br>四日市 | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |                                                                          |
| 小 計   |                 |          |    | 14,280 × 1<br>14,280 円 | ×<br>0 円 | 11,680 × 1<br>11,680 円 | 4,500 × 1<br>4,500 円   | 0 ×<br>0 円                                                               |
| 合 計   |                 |          |    | 30,460                 |          |                        |                        |                                                                          |

※精算

|             |     |      |      |     |       |
|-------------|-----|------|------|-----|-------|
|             | 運 賃 | 特別料金 | 特・急料 | 日 当 | 宿 泊 料 |
| 精 算 額       | 円   | 円    | 円    | 円   | 円     |
| 差 引 額       |     |      |      |     |       |
| 過 不 足 の 理 由 |     |      |      |     |       |

領収証

2024 年 8 月 9 日

四日市市議会 公明党

様

★

¥30,000

但 8/9 10時～ 決算審議の実地研修基礎  
8/9 14時～ 決算審議の実地研修応用  
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678

会員地

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。  
ご利用の明細は下記のとおりです。なお操作が止しく  
終了しなかった場合は、係までお問い合わせください。

☆☆ご出金☆☆

お取引金額 ¥30,000  
お手数料 ¥440

お取引後残高\*\*\*\*\*

お受取人  
楽天銀行  
第四営業支店  
普通 7128969  
ウヤ) ツーケーセミナー 様

ご依頼人  
アラキ ミヨキ 様

電話番号

| 取引年月日  | 取扱店    | 機番      | 時刻   | 受付番号 |
|--------|--------|---------|------|------|
| 060731 | 0105   | 0511    | 2:22 | 0069 |
| 銀行番号   | 支店番号   | 科目・口座番号 |      |      |
| 0154   |        |         |      |      |
| 通番     | 000405 | 説明      |      |      |

三十三銀行

7/30<sub>火</sub> in博多

8/8<sub>木</sub> in東京

10:00~12:30

## 防災減災特別講座①

- ・自治体の防災に対する役割
- ・過去の災害から学ぶ
- ・法律や計画から学ぶ
- ・災害時に政治家かなすべきこと

14:00~16:30

## 防災減災特別講座②

- ・土砂災害に備えるために必要なこと
- ・大雨、地震、津波それぞれの防災減災の施策
- ・国からの財政措置についておさらいする
- ・防災、減災の質問のポイント
- ・効果的な質問質疑のために必要なこと

講師

かわもと たつし  
**川本 達志**

元・廿日市市  
副市長

# 決算審査

元副市長から学ぶ

# 直前研修

7/31<sub>水</sub> in博多

8/9<sub>金</sub> in東京

10:00~12:30

## 決算審議の实地研修 基礎

- ・決算質疑で外してはいけない勘所
- ・決算書を見ても解決しない謎
- ・そもそも自分の街の決算状況を理解できていますか?
- ・これで安心! 議員としてザックリ掴む

14:00~16:30

## 決算審議の实地研修 応用

- ・職員が聞かれたくないこと
- ・一目置かれる質疑に必要な準備
- ・決算での指摘を予算に生かす
- ・財政は比較して分析する

講師  
略歴

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所上級コンサルタント。2014年4月に独立。

著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽書房)

令和6年7月29日(月)

三重県四日市市議会 公明党  
荒木美幸 様

地方議員研究会  
CKセミナー事務局  
電話 050-6868-9678  
(平日9～12時、13～17時)  
FAX 050-6868-9679

## 受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。  
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。  
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。  
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。  
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。  
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。  
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。  
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

### 記

| お申込み講座                                                                                            | 金額                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| ① 2024年8月9日(金)10時～川本講師【東京】決算審議の实地研修基礎                                                             | ¥15,000                 |
| ② 2024年8月9日(金)14時～川本講師【東京】決算審議の实地研修応用                                                             | ¥15,000                 |
| 領収書宛名：<br>ご請求額：<br>【お振込み口座】※振込手数料はお客様負担をお願いいたします。<br>楽天銀行 第四営業支店<br>普通 7128969<br>名義 一般社団法人CKセミナー | 四日市市議会 公明党 様<br>¥30,000 |

※新型コロナウイルス感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。  
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。  
※東京会場につきましては、国際ビル2階、区画「リファレンス」までお越しください。  
※（新国際ビルではございません。）

令和6年7月31日(水)

三重県四日市市議会 公明党  
荒木美幸 様

地方議員研究会  
CKセミナー事務局  
電話 050-6868-9678  
(平日9～12時、13～17時)  
FAX 050-6868-9679

## 入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。  
受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。  
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。  
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

### 記

| お申込み講座                                | 金額           |
|---------------------------------------|--------------|
| ① 2024年8月9日(金)10時～川本講師【東京】決算審議の实地研修基礎 | ¥15,000      |
| ② 2024年8月9日(金)14時～川本講師【東京】決算審議の实地研修応用 | ¥15,000      |
| 領収書宛名：                                | 四日市市議会 公明党 様 |
| お振込み金額：                               | ¥30,000      |
| お振込み日：                                | 令和6年7月31日(水) |
| お振込み名義：                               | 荒木美幸 様       |

※新型コロナ感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。  
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。  
※東京会場につきましては、国際ビル2階、区画「リファレンス」までお越しください。  
※(新国際ビルではございません。)

## 領 収 証

No 3028654

四日市議会 公明党 様

# 843-

上記金額を正に領収致しました。

2024 年 8 月 22 日

| 税率         | お買上額 | 内消費税額 |
|------------|------|-------|
| 8%<br>軽減税率 | 円    | 円     |
| 10%        | 円    | 円     |
| 非課税        | 円    | 円     |

印紙税申告納  
付につき大津  
税務署承認済

株式会社 アヤハディオ

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜一丁目1-3  
TEL(077)528-5010 FAX(077)528-5018  
登録番号:T3160001000105

軽減対象品目:

ディオワールド四日市店  
TEL(059)361-5000

係員

ディオワールド四日市店TEL059-361-5000  
毎度ご来店ありがとうございます。

◆9月1日(日)は防災の日◆

◇備えあれば憂いなし◇

もう一度見直そう我が家の防災用品

2024年 8月22日(木)13:21 #000001  
4259

|                      |      |
|----------------------|------|
| 内10 0022 プロバス空       | ¥96  |
| 3倍 4902778692431     |      |
| 内10 0022 プロバス黄       | ¥96  |
| 3倍 4902778692462     |      |
| 内10 0022 プロバス桃       | ¥96  |
| 3倍 4902778692479     |      |
| 内10 0022 キョクトウA4レポート |      |
| 50マイA                | ¥349 |
| 3倍 4901470017269     |      |
| 内10 0022 ポイントメモケイセンP |      |
| -114                 | ¥206 |
| 3倍 4987167046941     |      |

|      |      |
|------|------|
| 小計   | ¥843 |
| 買上点数 | 5点   |

|           |        |
|-----------|--------|
| 合計        | ¥843   |
| (税率10%対象額 | ¥843)  |
| (内消費税等10% | ¥76)   |
| 現金        | ¥1,003 |
| お釣        | ¥160   |

※内8は軽減税率対象です。

## 内 訳 明 細

令和6年 8月分 No. 4

| 区 分       | 金 額    | 内 容                        |
|-----------|--------|----------------------------|
| 調 査 研 究 費 | 47,660 | 8/8～9 新宿区・荒川区・<br>板橋区 視察旅費 |
| 研 修 費     |        |                            |
| 資 料 作 成 費 |        |                            |
| 資 料 購 入 費 |        |                            |
| 要請・陳情活動費  |        |                            |
| 会 議 費     |        |                            |
| 広 報 費     |        |                            |
| 広 聴 費     |        |                            |
| 人 件 費     |        |                            |
| 事 務 費     |        |                            |
| 合 計       | 47,660 |                            |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

|       |                           |          |    |                          |          |                          |                        |                                                        |
|-------|---------------------------|----------|----|--------------------------|----------|--------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------|
| 会 派 名 | 公明党                       |          |    |                          |          |                          |                        |                                                        |
| 参加者氏名 | 山口 智也                     |          |    |                          |          |                          |                        |                                                        |
| 用務先   | 東京                        |          |    |                          |          |                          |                        |                                                        |
| 実施日   | 令和6年8月8日 (木) 令和6年8月9日 (金) |          |    |                          |          |                          |                        |                                                        |
| 目 的   | 視察                        |          |    |                          |          |                          |                        |                                                        |
| 月日    | 発 着                       | 路 程      | 路線 | 運 賃                      | 特別料金     | 特・急料                     | 日 当                    | 宿泊料                                                    |
| 8/8   | 四日市 ~ 名古屋                 | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                    | 円        | 520 円                    | 2 日<br>(3,000 円/日)     | 甲地方<br>1 泊<br>(15,900 円/泊)<br>乙地方<br>泊<br>(14,900 円/泊) |
|       | 名古屋 ~ 東京                  | 366.0 KM | JR | 6,380 円                  | 円        | 5,120 円                  |                        |                                                        |
| 8/9   | 東京 ~ 名古屋                  | 366.0 KM | JR | 6,380 円                  | 円        | 5,320 円                  |                        |                                                        |
|       | 名古屋 ~ 四日市                 | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                    | 円        | 520 円                    |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
|       | ~                         | KM       |    | 円                        | 円        | 円                        |                        |                                                        |
| 小 計   |                           |          |    | 14,280 × 1<br>14,280 円 / | ×<br>0 円 | 11,480 × 1<br>11,480 円 / | 6,000 × 1<br>6,000 円 / | 15,900 × 1<br>15,900 円 /                               |
| 合 計   |                           |          |    | 47,660                   |          |                          |                        |                                                        |

※精算

|             |     |      |      |     |       |
|-------------|-----|------|------|-----|-------|
|             | 運 賃 | 特別料金 | 特・急料 | 日 当 | 宿 泊 料 |
| 精 算 額       | 円   | 円    | 円    | 円   | 円     |
| 差 引 額       |     |      |      |     |       |
| 過 不 足 の 理 由 |     |      |      |     |       |

# （調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6年 8月 9日

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時  | 令和 6年 8月 8日（水） 10時 00分 ～ 11時 30分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 参加者氏名 | 山口 智也 今村 厚美                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 用務先   | 東京都 新宿区 区役所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 対応者   | 新宿区 福祉部 障害者福祉課長 渡辺隆介様<br>同課 福祉推進係長 小林正明様 支援係長 松澤正芳様<br>支援主査 石丸明子様<br>通所支援・障害福祉サービスの所得制限（自治体独自の補助）について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 目的・内容 | <p>本市では昨年度、三重県立特別支援学校西日野にじ学園PTAから「障害のある子どもとその家族を支える取組」に関する市長要望が提出され、そのうち、放課後等デイサービス等の利用負担軽減策に関する項目も含まれ、現在本市の障がい福祉施策の検討項目の一つとなっている。</p> <p>国においては障がい福祉に関する利用負担限度額が定められているが、所得区分「一般1」（通所4,600円・入所9,300円）と「一般2」（37,200円）とその間に大きな開きがあり利用者の負担が大きな課題となっている。</p> <p>前述の市長要望では激変緩和対策として負担限度額の上昇を一定程度緩和する（段階的となる）ような制度の変更を国へ働きかけるとともに、市として独自の支援策を講じるよう求めている。</p> <p>今回、本市と都市規模に近い自治体で上記の支援策を実施している新宿区と荒川区（別紙報告書）を視察することとし、本市の特に障がいのある子どもやその家族の経済的負担の軽減を目的とする補助制度の構築など実施可能な取組みを具体的に検討していきたいと考えている。</p> |

成果・所感

利用者負担の上限額については障害者総合支援法や児童福祉法に基づき、所得に応じて4区分あり、月のサービス利用料に関わらず、それ以上の負担は生じない。(下記参照)

| 区分   | 世帯の収入状況等                | 負担上限月額                 |
|------|-------------------------|------------------------|
| 生活保護 | 生活保護受給世帯                | 0円                     |
| 低所得  | 住民税非課税世帯                | 0円                     |
| 一般1  | 住民税課税世帯<br>(所得割額28万円未満) | 通所 4,600円<br>入所 9,300円 |
| 一般2  | 上記以外                    | 37,200円                |

新宿区では一定以上の所得のある方に対しても厳しい経済情勢が続いていることから障がい福祉サービスの利用抑制が生じることを防ぐために負担軽減策を障害者自立支援法が施行された平成18年度から実施されている。(障がい児を対象とするサービスも同様に支援策を実施)

具体的には、障害福祉サービス、補装具、地域生活支援事業及び障害児通所支援の定率負担10%を3%にし、さらに区立の通所施設における給食費について原材料費に限る軽減策を実施。

また、通所支援や入所支援など自立支援給付と日中一時支援などの地域生活支援事業はお互い補い合う制度という点を考慮され、新宿区においては合算して障がい福祉サービスの負担上限月額を適用されている。

取組みを開始された平成18年度当時の考え方を確認したところ、例えば、就労継続支援B型を利用した場合に賃金が月額8,000円、それに対し障がい福祉サービスの自己負担がそれ以上かかる状況を少しでも改善したいとの思いがあったとのことであった。

本来、こうした制度の歪みを国は放置させてはならないが現状は未だ対応が追い付いていない。故にまずは自治体として独自の補助制度を構築し、障がい者・障がい児の生活を経済的に支援することは重要な施策であろう。

新宿区などは定率負担の軽減策であるが、財政的負担の面で難しければ「一般2」の負担上限月額の半額を補助する手法も有効であり、本市で実施可能な軽減策を引き続き模索し、行政に積極的に働きかけてまいりたい。

## （調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6年 8月 9日

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時  | 令和 6年 8月 8日（水） 13時 30分 ～ 15時 00分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 参加者氏名 | 山口 智也 今村 厚美                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 用務先   | 東京都 荒川区 区役所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 対応者   | 荒川区 福祉部長 東山忠史様<br>障害者福祉課長 増田久恒様<br><br>荒川区における通所支援・障害福祉サービスの所得制限<br>（自治体独自の補助）について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 目的・内容 | <p>本市では昨年度、三重県立特別支援学校西日野にじ学園PTAから「障害のある子どもとその家族を支える取組」に関する市長要望が提出され、そのうち、放課後等デイサービス等の利用負担軽減策に関する項目も含まれ、現在本市の障がい福祉施策の検討項目の一つとなっている。</p> <p>国においては障がい福祉に関する利用負担限度額が定められているが、所得区分「一般1」（通所4,600円・入所9,300円）と「一般2」（37,200円）とその間に大きな開きがあり利用者の負担が大きな課題となっている。</p> <p>前述の市長要望では激変緩和対策として負担限度額の上昇を一定程度緩和する（段階的となる）ような制度の変更を国へ働きかけるとともに、市として独自の支援策を講じるよう求めている。</p> <p>今回、本市と都市規模に近い自治体で上記の支援策を実施している荒川区と新宿区（別紙報告書）に注目し、本市の障がいのある子どもやその家族の経済的負担の軽減を目的とする補助制度の構築など実施可能な取組みを具体的に検討していきたいと考え視察させていただくこととした。</p> |

成果・所感

利用者負担の上限額については障害者総合支援法や児童福祉法に基づき、所得に応じて4区分あり、月のサービス利用料に関わらず、それ以上の負担は生じない。(下記参照)

| 区分   | 世帯の収入状況等                | 負担上限月額                 |
|------|-------------------------|------------------------|
| 生活保護 | 生活保護受給世帯                | 0円                     |
| 低所得  | 住民税非課税世帯                | 0円                     |
| 一般1  | 住民税課税世帯<br>(所得割額28万円未満) | 通所 4,600円<br>入所 9,300円 |
| 一般2  | 上記以外                    | 37,200円                |

荒川区では上記の国基準に加え、平成18年度から独自に利用者負担割合を10%から3%にするとともに、市区町村民税の所得割による上限額軽減の適用を受けない利用者の負担上限月額を半額としている。

(上記の一般2 37,200円→18,600円)

荒川区における利用者負担軽減策の予算額(障がい児分)は令和5年度で約1,280万円程度とのことであった。これは10%から3%に引き下げた7%分ということになる。

この経緯については、平成18年に障害者自立支援法が施行され、応能負担から定率負担となり、利用者としては実質的な負担増となったことへの対応策とのことであった。この際、東京都でも非課税世帯向けの軽減措置を実施したが、課税世帯への影響を考慮し、区独自の施策を実施したとの事である。

また近年においては国の3歳から5歳児の幼児教育・保育の無償化や東京都独自の0歳から2歳までの第2子以降の無償化により区民の負担軽減が総合的に図られていることを確認した。

国や都の無償化等の制度により、例えば児童発達支援はそもそも無償化となる対象者が多いため、放課後等デイサービスなどに限られ負担軽減されているということであった。

請求の仕組みとしては、利用者は通常所要額の10%であるところ3%分を事業所に支払い、事業所は軽減された7%を含めた97%を国請求する形だ。職員負担としては3%に軽減されていることの確認に時間を要するようであり、特に広域展開の事業者は近隣の自治体により軽減策が異なるので請求ミスが生じやすいとのことであった。確認ソフトについては自治体独自助成に対応するシステム構築が必要になるとのことであった。

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>成 果 ・ 所 感</p> | <p>国において近年子育て環境を改善する動きの中で経済的な支援を拡大している流れがあるので、特に障がい児の福祉サービスの自己負担については最終的には無償化ということも選択肢の一つになると考えられ、本市においてはまずは、課税世帯の負担の半減を目指すべきと考えるが、その先に荒川区のような定率負担の軽減やさらに無償化も検討していくべきではないかと考えるところである。</p> <p>いずれにしても、今回このテーマについて新宿区と荒川区を視察し、ほぼ同様の負担軽減の仕組みを確認することができたが、時代はさらに進み無償化の流れが加速する中で、本市としても障がい福祉の分野における利用者負担軽減策についても県内をリードする思い切った施策を検討すべきと考えており、今後保護者や利用者のニーズが反映できるよう行政にこの対応を積極的に働きかけていきたいと考えている。</p> |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

資料別添付

# （調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6年 8月 10日

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時  | 令和 6年 8月 9日（金） 10時 00分 ～ 11時 30分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 参加者氏名 | 山口 智也      今村 厚美                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 用務先   | 東京都 板橋区 区役所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 対応者   | 板橋区福祉部 障がいサービス課長 國枝豊様<br>同 支援調整係長 大波啓司様                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 目的・内容 | <p>避難行動要支援者向け個別避難計画作成事業について</p> <p>近年頻発する豪雨災害における高齢者等への被害集中等を踏まえ、国は令和3年5月に災害対策基本法を改正し、その中で個別避難計画の作成を市町村の努力義務とした。</p> <p>本市においても避難行動要支援名簿の作成と併せ、個別避難計画の作成を順次進めており、その中で優先度の設定や更新の仕組みづくり等に取り組んでいる。私自身もこれまでこのテーマについては継続的に一般質問等で行政に働きかけてきており、他都市の取組みについても調査を重ねさらに推進するべきと考え、内閣府のモデル事業としても紹介されている板橋区を視察させていただくことにした。</p> <p>本市とは地理的条件など異なるため、同一の取組みを推進することは適切ではないが、優先度の設定の考え方など参考にすべき点もあると考えた。</p> <p>本市の取組みを実効性あるものに昇華させるために、先進事例を今後も継続的に研究していく。</p> |

成果・所感

本市においては浸水想定エリアなどを計画作成優先度の条件とはしておらず、介護度や障がいの程度をもとに個別避難計画の作成を進めているが、今回、視察した板橋区は荒川など河川による水害の危険性が高い地域であり、その水害のリスクを考慮した優先度の設定を行っている。(一部土砂災害エリアについても設定) この優先度の考え方を本来本市でも適用すべきと考え提言しているものの、現状本市は検討中となっている。

板橋区では令和4年度に荒川と新河岸川に挟まれたエリアにある建物の1階から3階(戸建を含む)の避難行動要支援者(対象者133人)の計画作成を皮切りに浸水想定エリアを順次広げ、また建物の4階以上など高層にも広げ、現時点で令和8年度までの計画で取組みを進めている。

また板橋区の特徴として、障がい福祉部門と高齢者福祉部門とは別々で取組みを進め、特にそれを統括する危機管理部門が積極的に取りまとめ指示をしているわけではないということであった。更には、作成した個別避難計画を地域の自治会等にお渡しし、それをもとに避難訓練を実施しているということも今回確認できなかった。あくまで個人の判断に委ね計画を活用していただくという考え方の方であった。こうした点については、それぞれの自治体や地域組織の考え方であるが、できれば行政として統括部署が個別避難計画を取りまとめ、それを地域の避難訓練で積極的に活用できるように後押しすることが重要であると強く感じたところである。

一方、板橋区の実践で非常に参考になった点は福祉事業者による個別避難計画の作成を1件7,000円、更新3,500円で委託する仕組みを取り入れていることである。同意を得られた方を対象に、日常的にサービス等利用計画を作成している相談支援専門員やケアマネージャーが災害時の個別避難計画を作成し、行政はその内容をチェックする仕組みだ。

事業者の協力についてはほぼ取れているということは意外でもあったが、災害時の避難支援の責任や義務を負わない旨を周知することがその要因のようである。この福祉事業者との協力については今後本市においても取組むことが重要であり、今後の議論に反映させていきたい。災害時、要援護者は地域住民や親族以外に、福祉事業者との連携が想定されることから計画作成に積極的に関わることが重要である。いずれにしても、災害時に実効性が担保できる仕組みを構築できるよう引き続き取り組んでいく。

# 内 訳 明 細

6 年 8 月分 No. 5

| 区 分       | 金 額    | 内 容             |
|-----------|--------|-----------------|
| 調 査 研 究 費 | 29,660 | 8/22 渋谷区教育委員会視察 |
| 研 修 費     |        |                 |
| 資 料 作 成 費 |        |                 |
| 資 料 購 入 費 |        |                 |
| 要請・陳情活動費  |        |                 |
| 会 議 費     |        |                 |
| 広 報 費     |        |                 |
| 広 聴 費     |        |                 |
| 人 件 費     |        |                 |
| 事 務 費     |        |                 |
| 合 計       | 29,660 |                 |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること

第6号様式(第4条関係)

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

| 会 派 名 | 公明党             |          |    |                        |          |                        |                        |              |
|-------|-----------------|----------|----|------------------------|----------|------------------------|------------------------|--------------|
| 参加者氏名 | 森 智子            |          |    |                        |          |                        |                        |              |
| 用務先   | 東京              |          |    |                        |          |                        |                        |              |
| 実施日   | 令和6年8月22日 (木)   |          |    |                        |          |                        |                        |              |
| 目 的   | 視察              |          |    |                        |          |                        |                        |              |
| 月日    | 発 着             | 路 程      | 路線 | 運 賃                    | 特別料金     | 特・急料                   | 日当                     | 宿泊料          |
| 8/22  | 近鉄<br>四日市 ~ 名古屋 | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  | 1 日<br><br>(4,500 円/日) | 甲地方          |
|       | 名古屋 ~ 東京        | 366.0 KM | JR | 6,380 円                | 円        | 4,920 円                |                        | 泊            |
|       | 東京 ~ 名古屋        | 366.0 KM | JR | 6,380 円                | 円        | 4,920 円                |                        | (15,900 円/泊) |
|       | 名古屋 ~ 近鉄<br>四日市 | 36.9 KM  | 近鉄 | 760 円                  | 円        | 520 円                  |                        | 乙地方          |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        | 泊            |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        | (14,900 円/泊) |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |              |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |              |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |              |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |              |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |              |
|       | ~               | KM       |    | 円                      | 円        | 円                      |                        |              |
| 小 計   |                 |          |    | 14,280 × 1<br>14,280 円 | ×<br>0 円 | 10,880 × 1<br>10,880 円 | 4,500 × 1<br>4,500 円   | 0 × 1<br>0 円 |
| 合 計   |                 |          |    | 29,660                 |          |                        |                        |              |

※精算

|             | 運 賃 | 特別料金 | 特・急料 | 日 当 | 宿 泊 料 |
|-------------|-----|------|------|-----|-------|
| 精 算 額       | 円   | 円    | 円    | 円   | 円     |
| 差 引 額       |     |      |      |     |       |
| 過 不 足 の 理 由 |     |      |      |     |       |

# （調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 6 年 8 月 31 日

|       |                                                                                                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時  | 令和 6 年 8 月 22日（木） 13時30分～15時00分                                                                                                              |
| 参加者氏名 | 中川 雅晶 森 智子                                                                                                                                   |
| 用務先   | 東京・渋谷区                                                                                                                                       |
| 対応者   | 渋谷区教育委員会事務局 次長 篠原保男、 教育指導課 統括指導<br>主事 松村信之介、 同 田村崇、                                                                                          |
| 目的・内容 | <p>未来の学校 学びを変える 探究「シブヤ未来科」</p> <p>1 渋谷区の概要</p> <p>2 渋谷区が目指す教育 ～子ども像、教師像～</p> <p>3 シブヤ「未来の学校」 ～ハード・ソフトの両面から～</p> <p>4 今後の展望</p> <p>5 意見交換</p> |
| 成果・所感 | <p>本年度より先進的に「シブヤ未来科」探求学習をすべての公立小中学<br/>校において取り組まれている渋谷区を視察させていただき、大感動の<br/>思いでした。学びをより主体的に・探求的に、より対話的・協働的</p>                                |

に、との考えでの探求学習です。未来を見据えた新しい学びの取り組みのソフト面と今後施設の更新を迎えるハード面の両面からの検討を未来の学校プロジェクトとして取り組まれています。今後建て替えを予定している校舎も素晴らしく、子どもたちだけではなく地域の方とともに学べる施設を考えられていて地域に根ざした学校をしっかりと考えられていました。

探求学習においては、お話を伺うまでは、教科学習を1割減らして学力の担保をできるのか、興味があったが、文部科学省の「授業時間数特例校制度」を活用することで、総合的な学習の時間が70時間から155時間まで増やせることができ、1日のうちで午後の時間を探求の時間に充てることができる、さらに探求の学習は各教科の見方・考え方を深めることができるという点で大いに納得できました。また、すべての小中学校で午後の時間を探求学習に充てている、という点、普通ならまずはモデル校からスタートするのが一般的なような感じですが、そこは、「モデル校から広がった経験はない、みんなが一斉にスタートした方が自分ごとになる、お互い連携取り合って研究し合っている」とのお話にも納得しました。自分ごととして各学校が取り組むことがお互いの前進に寄与できる、というのは大事な視点であると感じまし

た。しかしここまで思い切って探求学習にシフトさせることは全国でも他になく、担当者だけでなく首長や教育長の熱い思いも同時にあるのだと思います。

実際の探求学習の内容については、まずは探求の基礎として企業の方からの体験の学び、次に共通テーマの研究、さらにマイ探求、と一年かけて成熟させていく取り組みになっています。実際に探求学習に取り組む子どもたちの意見は、とても楽しく生き生きとしたものでした。自分たちの学びが最終的に社会につながっていることが探求学習のキーワードですが、まさしくその実感をしているのがわかりました。

学力低下を心配する保護者の意見も気になりましたが、最初はネガティブな意見があったものの今では講師になれる企業の方を紹介されたり、大応援団になっているとのことで、取り組みがうまくいっていることを感じました。

教師の負担が増えるのではないかと不安に対しては、探求コーディネーターを各校に置き、学校全体として先生の力が発揮できるように、学年関係なくゼミ形式のように行ったり、うまく地域の方を巻き込んでいる、とのことで、課題と思われることもしっかりと解決して

|  |                                                                                                                                                                                                                                       |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>いることが素晴らしいと感じました。働き方改革もデジタル化を活用することで働きやすい環境をつくれていて、会議も資料作成もデジタルでされているようです。</p> <p>地域の人材の発掘も都会の渋谷区ならではの思うものの、地域の未来をともに考える人を一人でも多く作ることが地域課題の解決には必要なかと思います。</p> <p>本市においても人材を発掘しつつ、公教育のあり方、子どもたちのやる気を引き出せる学習の方法を考え深めていきたいと思っています。</p> |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

資料別添付

## 内 訳 明 細

6年 8月分 No. 6

| 区 分       | 金 額    | 内 容                    |
|-----------|--------|------------------------|
| 調 査 研 究 費 |        |                        |
| 研 修 費     |        |                        |
| 資 料 作 成 費 |        |                        |
| 資 料 購 入 費 |        |                        |
| 要請・陳情活動費  |        |                        |
| 会 議 費     |        |                        |
| 広 報 費     |        |                        |
| 広 聴 費     |        |                        |
| 人 件 費     |        |                        |
| 事 務 費     | 20,647 | コピー機リース料・カウン<br>ト 8 月分 |
| 合 計       | 20,647 |                        |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること

領収証

No. **1829**

四日市議会公明党

様

| 金額 |  |  |  |   |   |   |   |   |   |
|----|--|--|--|---|---|---|---|---|---|
|    |  |  |  | ¥ | 2 | 0 | 6 | 4 | 7 |

但 1-7月 ¥16120 前払金 ¥4527

2024 年 8 月 23 日 上記正に領収いたしました

内訳

現金

小切手

手形

消費税額等 ( % )

コクヨ ウケ-370

オフィスを創造する  
株式会社 **システムクリエイター**  
〒510-0074 四日市市鶴の森一丁目14番11号  
TEL 059-353-8871 代  
FAX 059-353-8110

収 入

印 紙

係印

T8-1900-0101-5129